

競技・審判上の注意

【全般的事項】

1. この大会は、令和7年度公益財団法人全国高等学校体育連盟が定めた大会実施要項及び公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程により行います。
2. 審判は、原則として置賜地区高校生が行います。準決勝以上の試合では公認審判員が行います。なお、サービスジャッジは原則としてつけません。
3. 選手は、試合開始予定時刻の1時間前までには会場に到着し、監督は必ず「受付」を済ませてください。
4. 競技の進行を円滑に進めるために、「受付」「集合」等の時間厳守に努めてください。
5. 朝の公式練習時間を設けます。プログラム記載の「公式練習コート割」の通りに行ってください。なお、練習用のシャトルは各校で準備してください。
6. 競技開始時間は、初日10時30分からの開会式終了後とします。2日目以降は、9時00分とします。また、試合の進行状況に応じて、予定された試合の開始時刻やコートを変更することがあります。コールには十分注意してください。
7. 試合を連続して行う場合のインターバルは次の通りです。
＜学校対抗＞ 学校対抗が連続する時は、20分とします。
＜個人対抗＞ 個人対抗（単・複）が連続する時は、15分とします。
また、各試合（マッチ）のインターバルは次の通りです。
○すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが11点（15点ゲームでは8点）になったとき、60秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
○第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間には120秒を超えないインターバルを認めます。（選手は20秒前にはコートに入ること）
8. 今大会のスコアリングは以下の通りで実施いたします。
＜学校対抗＞準々決勝から21点3ゲームマッチとし、それ以前は15点3ゲームマッチで実施。
＜個人対抗＞全ての種目で2回戦まで15点3ゲームマッチとし、3回戦以上は21点3ゲームマッチで実施。
9. インターバル時に指示・助言をする場合には次の条件に従ってください。
○インターバルでは、どちらのサイドも2人まで競技区域に入ってきてよい。これは、エンドを替えた後に入り、主審が「（コート番号）20秒」とコールしたら、コートから離れるものとする。
○選手がエンドを替える際、コーチングシートに着席する方も移動し、コーチングシートを使用してください。
10. マッチ（試合）中の水分補給、汗ふき等は必ず主審の許可を必要とします。また、以下のことに注意すること。
○必ず蓋付きの容器を使用し、使用し終わったら自分のバッグ等に入れてコートサイドにおいてください。
○体力回復措置を図っているとおぼしき行為は慎んでください
○氷のうの使用は、インターバル中のみとし、フロア内に持ち込み（保管）する場合は、その容器としてクーラーバック（小型のソフトタイプ）のみを認めます。
○学校対抗の際、ベンチ（シート上）での水分補給を認めます。ただし、必ず蓋付きの容器を使用してください。万が一シートが濡れた場合は、各校の責任において、モップを使用して直ちに拭き取り、フロア（床）面の保護には万全の注意を払ってください。フロアに直接置くことは禁止とします。
○カゴ等は準備しません。替えのラケットや着替え、タオル等については、必ずバッグ等に入れ、自分でコートサイドに持ち込んでください。また、エンドを替える際は自分でバッグ等を持って移動し、バッグはフロアに直に置いてください。
11. サービスの遅延行為に関しての判定は主審が行います。
12. 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は、一切認められません。
13. 次のような違反行為に対しては厳正に対処をします。（競技規則第16条）
○息切れなど、体力回復等の遅延に関わる行為。
○インプレーの時に指示や助言をすること。主審の許可なしにコートを離れること。
○故意にシャトルに手を加えたり破損したりする行為。
○審判員や観客に対して横柄な振る舞い、下品で無礼な態度、言動。
○見苦しい着衣でプレーをする。
○ラケットや身体でネット等のコート施設を叩く、耳障りなかけ声や奇声を発する等の不品行な振る舞い。
14. 競技中は、必ず高等学校校名・都道府県名の入ったシャツを着用するか、ゼッケンをつけてください。（背面の文字は明確に判読できるものとし、規程に沿ったものの着用をお願いします）
15. マッチ（試合）中のけがや病気の場合は、主審が慎重かつ適切に処置しますが、もし必要ならば競技役員長（レフェリー）を呼びます。競技役員長（レフェリー）は医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。痙攣やねん挫などに使用するスプレーはマッチ中1回のみを使用を認めます。
16. 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。判定に対し疑問がある場合には、次のサービスがなされる前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、学校対抗では、「当該選手と監督」、個人対抗では、「当該選手」に限ります。

17. コーチングシートについて
○本大会は2席設けます。
○コーチングシートに着席できる方やその服装は、競技規則に則ります。
18. 競技場内では、携帯電話の電源を切るか、もしくはマナーモードにしてください。また、インターバル中にモバイル機器を利用したコーチングは禁止といたします。
19. 換気時間をとる場合があります。換気のタイミングはレフェリーの指示によるものとします。
20. 試合前のウォームアップなどは館内で行わないでください。ジョギング等のため外出する場合は試合開始時間に影響がないよう戻ってください。
21. その他大会本部の指示に準じます

【学校対抗に関する事項】

1. 監督、コーチ、マネージャー、選手の変更は9時45分をもって最終のものとし、以後の変更は一切認められません。なお、追加は認められません。
2. 初回戦のオーダー用紙は、受付で配布する袋に同封してあります。次回戦以降は主審が直接手渡します。
3. オーダー用紙は複写で記入し、自校保存用以外のものを本部席に提出して下さい。提出する方は、監督、コーチまたはそれに準ずる方とします。(部員は禁止とします。)
4. 今大会はオーダー用紙を進行の求めに応じて本部席に提出するものとし、交換は行いません。
初回戦(5/30)のオーダー用紙の提出を9時45分とします。決勝(5/31)の提出は8時40分とします。
5. 定時(指示のあった時刻)までにオーダー用紙の提出が無いときには「棄権」とします。
6. エントリーをしている競技者(監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手5~7名)は、コールがあったら速やかに、試合のあるコートに集合して下さい。若番の学校が主審の右側とします。
7. ベンチに入ることができるのは、当該試合にエントリーされた競技者のみとします。
8. 同一選手が連続して試合をする場合のインターバルは10分とします。
9. マッチ(試合)は勝敗決定(3マッチ先取)後、打ち切りとします。

【個人対抗に関する事項】

1. 選手の変更はいかなる場合でも認められません。
2. 選手はコールがあったらコートに集合して下さい。若番の組・選手が主審の右側とします。
3. マッチ直前の練習は、ありません。

【一般上の注意】

1. 競技会場の開場について、1日目(5/31)は両会場とも8:30開場となります。
2日目(5/31)・3日目(6/1)、置賜生涯学習プラザは7:40、米沢市営体育館は7:50開場となります。
2. 競技者は会場到着後、「受付」を済ませてください。
○大会本部に「受付」を設置します。
3. 各会場とも、係員の指示や会場の表示に従って、下履きと上履きの区別をつけ、靴は自分で管理してください。
4. 競技フロア内での飲食やクーラーボックスの持ち込みを禁止します。但し、学校対抗の際、ベンチでの水分補給を認めます。濡れた場合は、各校の責任できれいにしてください。
5. 応援席については、特に設けませんが、占有しないこと。それ以外の観客席は、初日のみ地区の割り当てを行います。
6. 部旗・応援旗を使用する際には、競技に支障がないように配慮をお願いします。なお、大会本部が競技や大会運営に支障があると判断した場合は、指示に従って撤去してください。
7. フラッシュ・ストロボを用いた写真撮影は禁止します。また、会場施設内の電源(コンセント)の使用は禁止します。ご協力ください。
8. ビデオ撮影などを行う際は、観客席からの視界を妨げないよう気を付けて設置してください。
9. ライブ配信については、専門部から周知されている「ライブ配信の活用について」を遵守し運用してください。
10. ゴミは各自(各チーム)で持ち帰ってください。「来たときよりも美しく」の気持ちを心掛けてください。
11. 競技中の疾病・傷害については応急処置のみ主催者で行いますが、その後は各自で処置をしてください。
12. 防犯上、貴重品はじめ私物の管理は、各自(各チーム)で責任を持って行ってください。
13. 会場内では、指定された場所以外の使用を禁じます。
14. 通路等を占有するような使用は厳に慎んでください。
15. その他会場使用に関しては、大会本部、施設管理者の指示に従ってください。